



よしだつうしん

吉田通心

第137号
【2026年2月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通心は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆落ちてきた雪の衝撃で…◆

こんにちは。お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通心第137号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、この冬は例年と比べ雪がとて多く、大変でした。除雪車に来てもらうと、お客様駐車場のアスファルトがボロボロになってしまうことから、2022年から会社でやや大型の除雪機を導入。それで雪を飛ばし、手押しのスノーダンプを使いながらの除雪をしていますと、以前、102号で書かせていただきました。この冬も除雪機は大活躍しているのですが、それでは解決しない事故が発生してしまいました。それは、屋根の上から落ちてくる雪です。

吉運堂のとある店舗でのこと。お客様が通るところではなく、裏側の敷地に会社の軽トラが停めてあったのですが、そこに店舗の2階の屋根から落ちた雪が直撃。なんと、軽トラの屋根がポコッと凹んでしまったのです。写真を見ましたが直撃した場所が谷底のように凹んでおり、深いところでは10cmほどでした。これがもし、人の頭だったら……。

お客様や社員が通る場所には軒があり、屋根から落ちるところに通路はないのですが、会社の車を止める駐車場は店舗に接しており、カーポートのような屋根もありませんでした。ここまでの衝撃があるとは……。もし、そのタイミングで誰かが車の近くにいる、そこに雪が落ちてきたとしたら……。その場所はすぐ立入禁止にしました。

ちょっと調べてみたところ、2階の屋根から落ちる雪の重さ、その衝撃というのは、命の危険に関わるレベルでした。落ちてくる雪は、新雪ではなく押し固まって水分を含み、バケツ一杯分（約10リットル）でも5kgにもなる重さです。つまり、2階の屋根から5kgの米袋が投げ落とされたのと同等の威力があり、それが頭に直撃したら……と想像するだけでゾッとします



今回、軽トラの屋根は凹んでしまいましたが、人がそこにいなかったのが、不幸中の幸いでした。同じような危険がある場所が、他の店舗にもないかすぐ点検することにしました。皆様もどうか屋根から落ちてくる雪にはお気を付けください。

◆発行者コラム◆

先日、この大雪の中で、大変痛ましいニュースがありました。十日町市で、除雪作業中の2名の方が亡くなられたという報道です。特に残念だったのが、そのお2人がご自宅ではなく「空き家」の除雪作業中に事故に遭われたということでした。いま、新潟でもこの「空き家問題」は非常に深刻です。この地で100年以上商売をさせていただいている身として、この問題に対し、何かできることはないかと考え、現在、空き家問題の解決に向けた体制を整えつつあります。吉田竹史

■吉田通心を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが025-372-1138までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史